

Outshining
Light

第114期
事業レポート

2018年4月1日～2019年3月31日

STANLEY

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

証券コード:6923

スタンレーグループビジョン



スタンレーは、世界中のスタンレーグループで共有する基本的な価値観として、「スタンレーグループビジョン」を掲げています。
私たちは、このビジョンのもとで、「光の価値」と「ものづくり」を徹底的に究め、真に必要とされる価値を創造することで、広く社会に貢献します。

生活の中で輝く
スタンレーの「光」

A 自動車機器事業

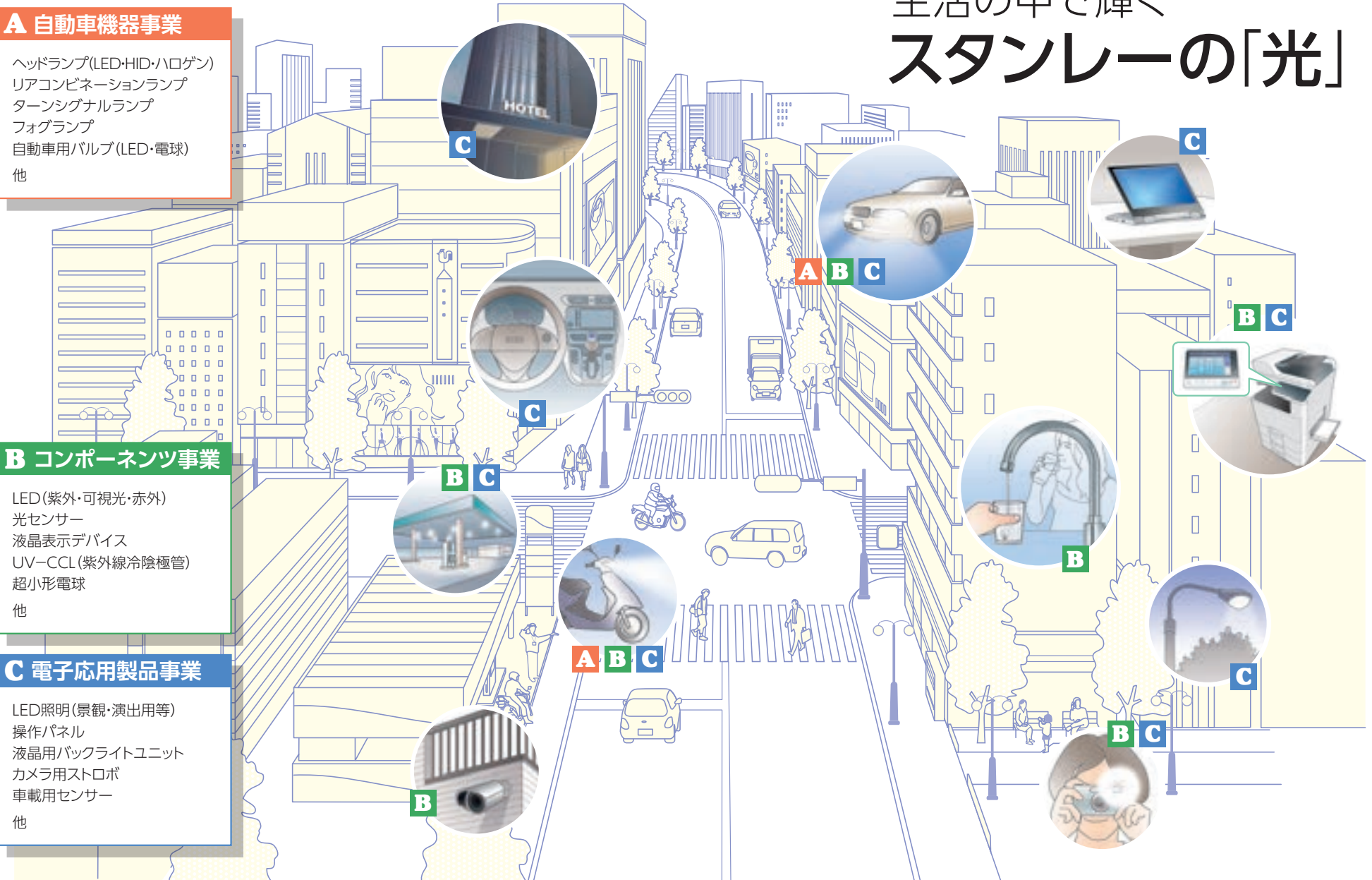
ヘッドランプ(LED・HID・ハロゲン)
リアコンビネーションランプ
ターンシグナルランプ
フォグランプ
自動車用バルブ(LED・電球)
他

B コンポーネンツ事業

LED(紫外・可視光・赤外)
光センサー
液晶表示デバイス
UV-CCL(紫外線冷陰極管)
超小形電球
他

C 電子応用製品事業

LED照明(景観・演出用等)
操作パネル
液晶用バックライトユニット
カメラ用ストロボ
車載用センサー
他





株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2019年3月31日をもちまして第114期の決算を行いましたので、ここにご報告を申し上げます。

代表取締役社長 **北野隆典**

全般的な営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、このところ輸出や生産の一部に弱さがみられたものの、緩やかな回復が続きました。

世界経済は、米国では景気の回復が続き、欧州では一部に弱さがみられたものの緩やかに回復、アジアでは総じて安定した成長が続きましたが、中国では緩やかに減速しました。

以上のような事業環境のもと、当社並びにグループ各社(以下、当社グループ)では、グローバルでの市場ニーズを的確に捉えた製品開発、及び受注拡大を目指した営業力強化や生産能力の増強、そして生産工程や間接部門の徹底的なムダ取りといった生産革新活動による生産性向上等を着実に実行しております。

その結果、当連結会計年度における、売上高は4,341億2千4百万円(前期比1.8%減)、営業利益は539億2千7百万円(前期比1.4%増)、経常利益は610億1千5百万円(前期比5.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は402億6千5百万円(前期比11.8%増)と減収増益になりました。

連結財政状態について

当連結会計年度末における総資産は5,095億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ150億7千2百万円増加しております。主な要因は、流動資産が96億8千2百万円増加したこと及び固定資産が53億8千9百万円増加したことによるものです。流動資産の増加は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金が増加したこと等によるものです。固定資産の増加は、投資有価証券が減少したものの、有形固定資産が増加したこと等によるものです。

負債は1,006億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ151億7千6百万円減少しております。主な要因は、日本における下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準の改正に伴う対応により、支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

純資産は4,089億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ302億4千9百万円増加しております。主な要因は、

その他の包括利益累計額が32億7千万円減少したものの、株主資本が297億6千8百万円増加したこと等によるものです。その他の包括利益累計額の減少は、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものです。また、株主資本の増加は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等によるものです。

連結業績予想と配当の状況について

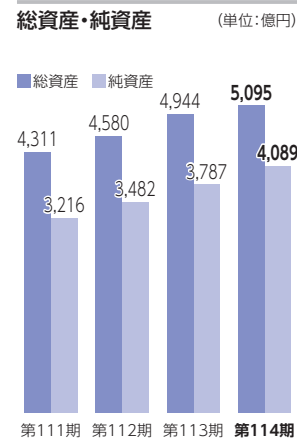
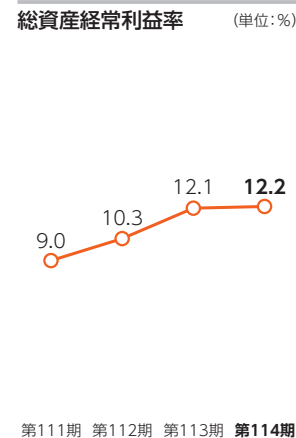
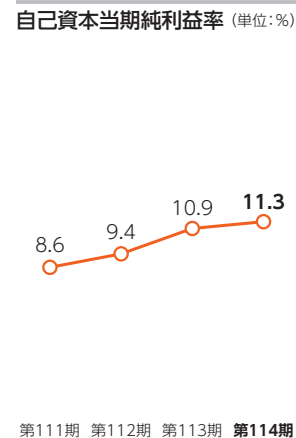
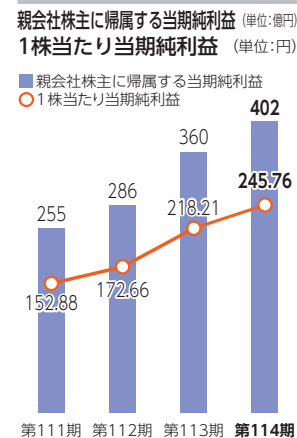
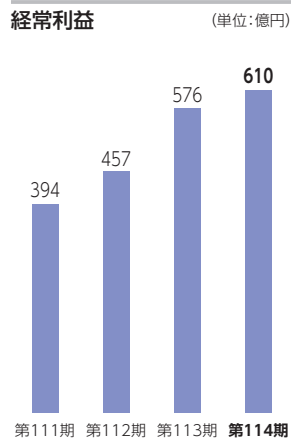
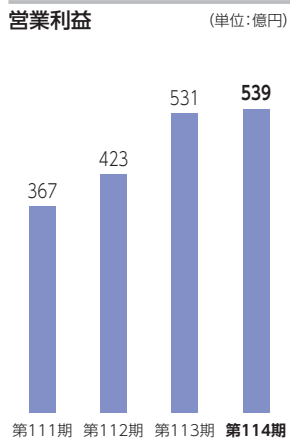
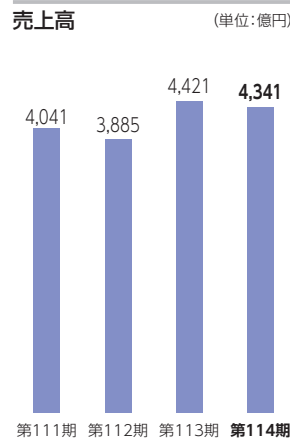
今後のわが国経済は、外需起因による下押し圧力の継続が懸念され、景気は踊り場の状態を維持すると見込まれます。

世界経済に目を向けますと、米国は緩やかに景気が拡大し、欧州は景気が減速しつつも底堅さを維持、アジアでは成長のペースがやや鈍化するものの概ね安定し、中国は緩やかな減速が続くことが見込まれます。

また、米中貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題などをきっかけに、世界経済が悪化する懸念があります。

このような事業環境のもと、当社グループで総力を挙げて取

連結財務ハイライト



(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第114期の期首から適用しており、第113期に係る企業集団の財産及び損益の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

り組んでいる生産革新活動を着実に成果につなげ、いかなる環境下においても利益を生み出す強い企業体質の定着を目指し、健全な危機意識のもと、当社グループ丸となって経営を推進していく所存です。

以上により、通期の業績については、米中貿易摩擦に起因した自動車市場の減速による減収、及びコスト負担、並びにランプシステムメーカーへの変革に向けた設計開発力の強化費用を織り込んだ結果、売上高は4,240億円（前期比2.3%減）、営業利益は486億円（前期比9.9%減）、経常利益は551億円（前期比9.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は367億円（前期比8.9%減）を見込んでおります。

当社の配当金につきましては、安定した配当の維持及び適正な利益還元を基本としており、連結配当性向20%以上、自己株の取得を含めた総還元性向は、連結で35%以上を目標とする中、当期の期末配当金につきましては、2018年10月29日公表の1株当たり25円とし、当中間配当金の1株当たり25円と合わ

せて年間配当金は50円となります。

また、次期の配当金につきましては、年間配当金は、当期と同額の1株当たり50円とし、中間配当金は1株当たり25円、期末配当金は1株当たり25円とする予定です。

なお、当社では、株主の皆さまへの利益還元と企業環境の変化に対応した機動的な資本政策等の遂行を可能とするため、当期において、2018年9月25日開催の取締役会決議に基づき、29億9千9百万円（78万株）、2019年3月18日開催の取締役会決議に基づき、2019年4月1日から2019年4月9日までの期間に19億9千9百万円（62万株）の自己株式取得を実施いたしました。また、2018年5月9日に8億8千9百万円（40万株）、2018年11月14日に9億3千1百万円（40万株）、2019年5月15日に9億4千8百万円（40万株）の自己株式の消却を行っております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

通期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

| | 百万円 | % |
|-----------------|---------------|------|
| 売上高 | 424,000 | △2.3 |
| 営業利益 | 48,600 | △9.9 |
| 経常利益 | 55,100 | △9.7 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 36,700 | △8.9 |
| 1株当たり当期純利益 | 円 銭 225.30 | — |

※%表示は、対前期増減率。
※当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。



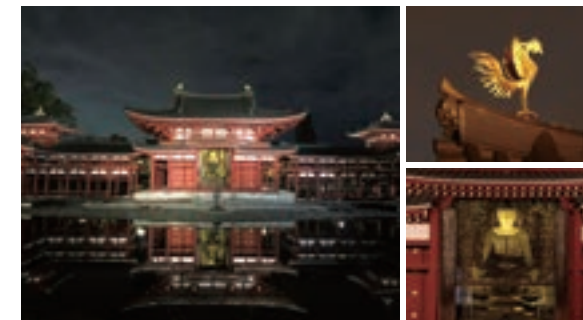
スタンレーのLED投光器が世界中をライトアップ!

スタンレーの超狭角配光LED投光器が世界の各地で採用されています。お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。

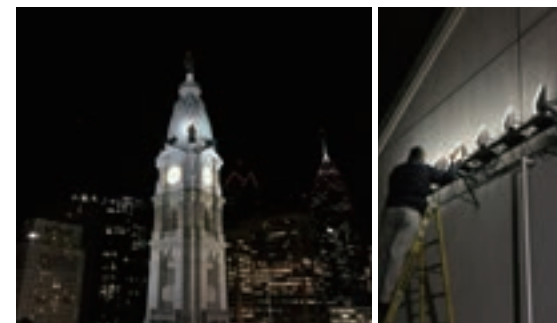
日本

平等院鳳凰堂特別ライトアップ

平等院様が夜間の観光を盛り上げるため、毎年秋に夜間特別拝観を実施している特別ライトアップに当社の金色LED投光器が採用されました。高さ3m近い阿彌陀如来坐像を堂内の近距離から照射するため、配光の異なる照明を左右2台ずつ設置。金色に輝く鳳凰像や阿彌陀如来坐像が堂前の池に映り込み、神秘的な演出をしています。



©平等院



アメリカ

フィラデルフィア市庁舎モニュメント

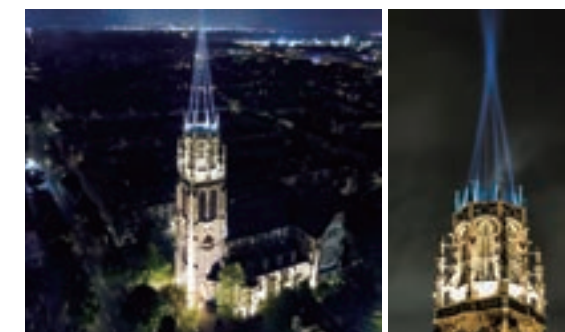
映画「ロッキー」の舞台にもなったフィラデルフィアで街のシンボルとなっているフィラデルフィア市庁舎。19世紀終わりから20世紀初頭に建てられ、石造建築物として世界一の高さを誇るといわれる市庁舎ビルのトップにあるモニュメントと、市創立者ウィリアム・ペンの巨大な銅像の両方を、当社のLED投光器が離れた距離の四方向のビルの屋上から照射しています。

ドイツ

デュッセルドルフの教会をライティングで復元

第二次世界大戦で破壊されたドイツ・デュッセルドルフの教会「Herz Jesu Kirche Düsseldorf」の屋根を、光で模擬的に復元するプロジェクトにスタンレーのLED投光器が採用されました。

8台の投光器から放たれたLEDの光が、在りし日の教会の姿を夜空にくっきりと描き出しています。



(左) Lichtkuppel Herz Jesu Kirche Düsseldorf / Germany Artist Klaus H.R. Gendrung / mo2 Photography A.Aengevelt dus-illuminated®

(右) Lichtkuppel Herz Jesu Kirche Düsseldorf / Germany Artist Klaus H.R. Gendrung / mo2 Photography Michael Jaeger

NEWS & TOPICS

タイ国 シリントーン王女殿下がタイスタンレーにご来社

タイ国のシリントーン王女殿下(本名:H.R.H. Princess Maha Chakri Sirindhorn)がスタンレーグループのタイ拠点 Thai Stanley Electric Public Co., Ltd.(以下、THS)を2018年8月24日に視察されました。前国王ラーマ9世とシリキット王妃の間に生まれた1男3女の次女であるシリントーン王女様は、王室初の国内大学進学者でタイ国内の情報技術分野の発展に精力的な活動をされ、国民から高い支持を得ています。

THSはタイ国で定めている労働マネジメントシステムにおいて明確なビジョンを持ち、長期間にわたり優良企業として活動していることが評価され、2017年に「タイランド労働マネジメント優秀企業賞」を受賞、その際シリントーン王女殿下名を記したトロフィーを授与されており、今回のご訪問につながりました。

今後も世界のスタンレーグループと力を合わせ、安全・安心に働ける職場づくりをいたします。



タイ国 シリントーン王女殿下



第30回スタンレーレディスゴルフトーナメント開催

2018年10月5～7日に静岡県・東名カントリークラブで第30回目となるスタンレーレディスゴルフトーナメントを開催しました。賞金が1億円にアップした本大会はのべ13,022人のお客様が来場、最終日はささきしょうこプロが逆転優勝するなど大変盛り上がりしました。



ささきしょうこプロ

また、選手の活躍に基づくチャリティの寄付先を、途上国の子供たちの教育支援活動を行っている公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン様へ変更しました。本大会の寄付金10,060,585円をもとに、アフリカ・ケニアに学校を造るプロジェクトが現在スタートしています。

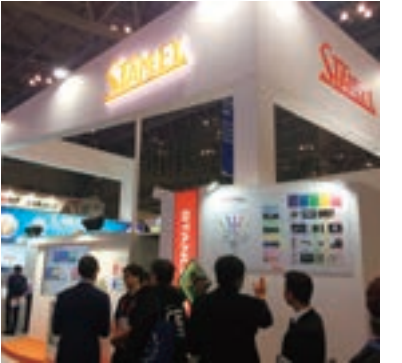
CEATEC JAPANに出展

スタンレーは、2018年10月16～19日に開催されたCEATEC JAPANに出展しました。

ブースコンセプトは当社グループビジョン「光の5つの価値」を「水×光」、「くらし×光」、「感動×光」の3つのシーンに分け、深紫外/近紫外LEDや水殺菌リアクター、ハイパワー赤外LED等を展示のほか、世界的照明デザイナー・石井幹子氏監修によるLED投光器の展示もし、期間中は多くのお客様に当社の光テクノロジーをアピールしました。



近紫外LEDによる消臭デモ 深紫外LED水殺菌用リアクター



広州スタンレーが広汽本田様から優秀取引先賞を受賞

スタンレーグループの中国・広州拠点・広州斯坦雷电气有限公司が、一年間を通して、広汽本田様に「品質」「コスト」「デリバリー」の領域で極めて優れた成績を収めたメーカーが選定される「優秀取引先賞」に選ばれ、2019年1月11日に受賞式が行われました。今回は400社以上の中から5社のうちの1社に選出され、積極的な情報収集や製品の安定品質等が評価されました。今後もスタンレーはグループ一丸となり、お客様に喜ばれるものづくりを進めてまいります。

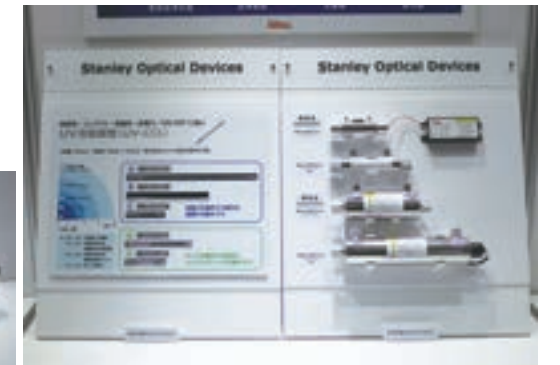


インターアクアに初出展

日本の水処理/管理技術を中心に、水ビジネスの次代を切り拓く展示会「インターアクア」が2019年1月30日～2月1日に東京ビッグサイトで開催され、初出展しました。当社は「紫外光の殺菌技術で安全な水を世界へ」をコンセプトに水殺菌用UV製品を中心に展示、来場者の中には「なぜ、スタンレーがインターアクアに?」と興味を持たれるお客様も多くいました。世界での水不足や環境問題に当社の技術・製品で貢献してまいります。



UV-LEDリアクター

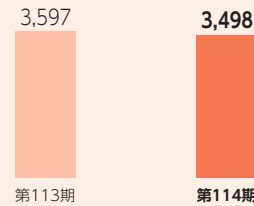


UV冷陰極管(UV-CCL)、リアクター

自動車機器事業

▶ 売上高 **3,498億2千7**百万円

売上高の推移 (単位: 億円)



主な事業内容

- ヘッドランプ(LED・HID・ハロゲン)
- リアコンビネーションランプ
- ターンシグナルランプ
- フォグランプ
- 自動車用バルブ(LED・電球)

他



四輪車用LEDヘッドランプ

二輪車用LEDヘッドランプ

世界の自動車生産台数は、中国で減少、欧州で微減、日本、米州で横ばい、アジアで微増となり、全体として微減となりました。二輪車生産台数では、中国で減少したものの、日本で微増、米州、欧州、アジアで増加となり、全体として微増となりました。

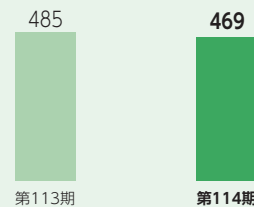
このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、米中貿易摩擦に端を発し、米州、中国において自動車用ランプが当第4四半期連結会計期間以降減速したことに伴って減収となったものの、二輪車用ランプの増加、及び当社が光源から一貫して製造しているLEDヘッドランプが堅調に推移したことにより、増益となりました。

その結果、当連結会計年度における自動車機器事業の売上高は3,498億2千7百万円(前期比2.8%減)、営業利益は311億4千2百万円(前期比1.0%増)となりました。

コンポーネンツ事業

▶ 売上高 **469億1千8**百万円

売上高の推移 (単位: 億円)



主な事業内容

- LED(紫外・可視光・赤外)
- 光センサー
- 液晶表示デバイス
- UV-CCL(紫外線冷陰極管)
- 超小形電球

他



車載用LED(ヘッドランプ)

コーヒーマシン一体型ウォーターサーバー(UV-CCLリアクター搭載)

当セグメントが関連するLED照明市場、AV市場は増加となったものの、車載市場は微減、情報通信市場、遊技市場は減少となりました。

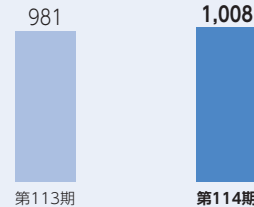
このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネンツ事業(LED、液晶等)は、LEDヘッドランプ等の社内向けLEDが堅調に推移しました。従来、社内向けのLEDについては、コンポーネンツ事業の利益としておりましたが、LEDヘッドランプの増加により社内取引価格を見直したことによって、コンポーネンツ事業は、減収減益となりました。なお、全社の営業利益に変更はありません。

その結果、当連結会計年度におけるコンポーネンツ事業の売上高は469億1千8百万円(前期比3.4%減)、営業利益は80億1千2百万円(前期比13.8%減)となりました。

電子応用製品事業

▶ 売上高 **1,008億6千8**百万円

売上高の推移 (単位: 億円)



主な事業内容

- LED照明(景観・演出用等)
- 操作パネル
- 液晶用バックライトユニット
- カメラ用ストロボ
- 車載用センサー

他



複合機パネル、ライティングシステム

液晶バックライト(プライバシー機能搭載)

当セグメントが関連するLED照明市場は増加、車載インテリア市場は微減、OA市場、AV市場のうちカメラ市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業(LED照明製品、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル、社内向け電子基板等)は、当社独自のノートPC用プライバシー機能付きバックライト等の増加、及びLED灯体の制御等に用いる電子基板が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。

その結果、当連結会計年度における電子応用製品事業の売上高は1,008億6千8百万円(前期比2.7%増)、営業利益は125億1千4百万円(前期比31.6%増)となりました。

その他 ▶ 売上高 **32億4千4**百万円

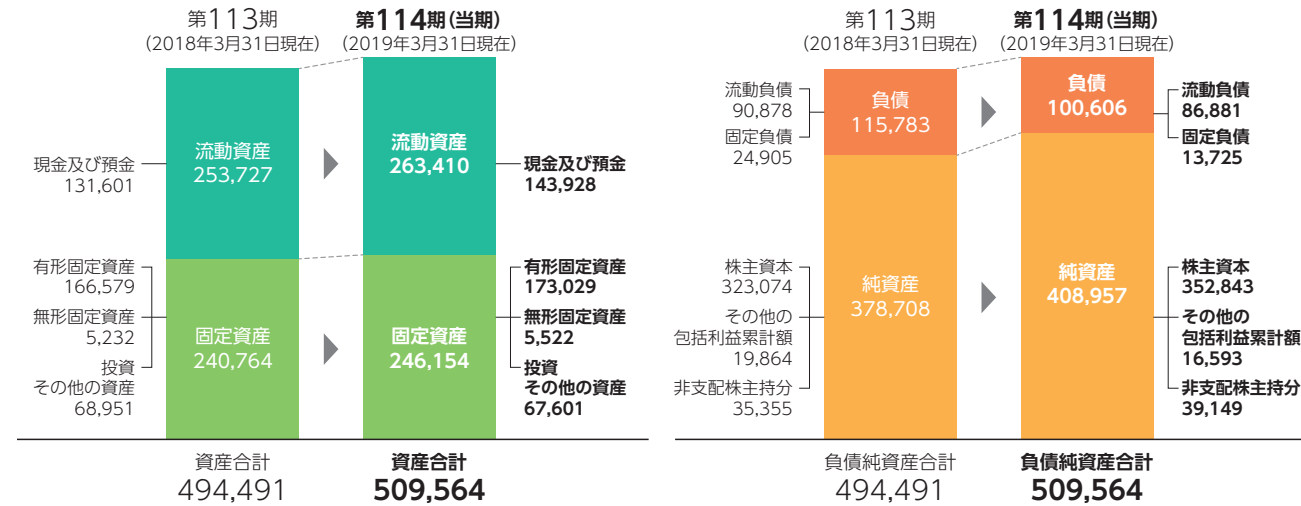
主な事業内容

- 身体障害者雇用促進事業
- グループに対する金融・経営サービス

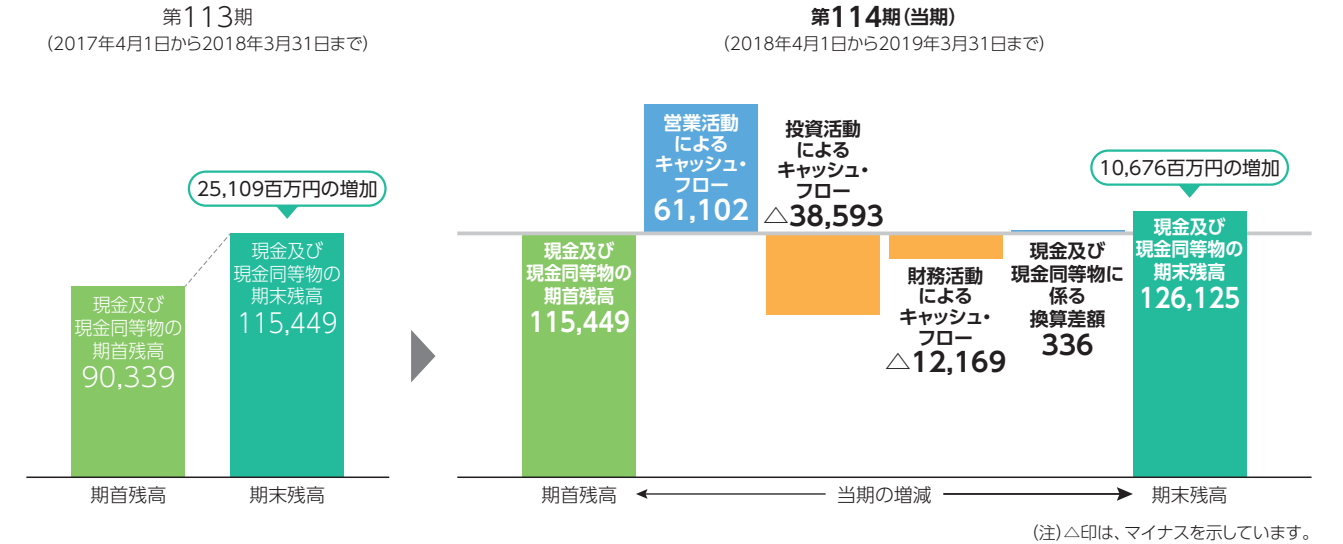
当連結会計年度におけるその他の売上高は32億4千4百万円、営業利益は7千9百万円となりました。

連結決算概要

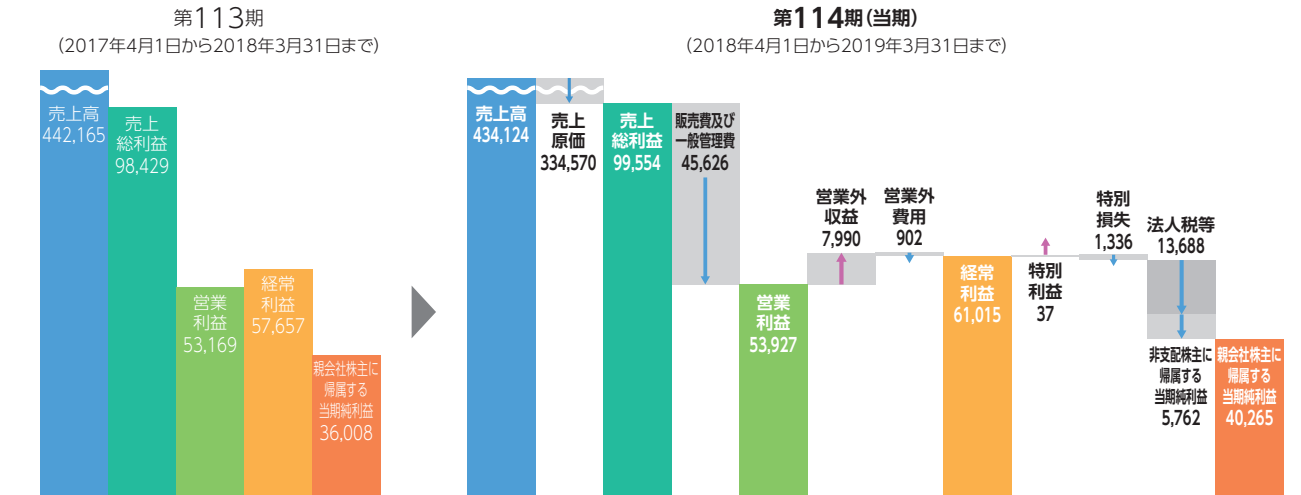
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結の範囲

| 連結子会社 | 国内(8社) | 株式会社スタンレー鶴岡製作所 | 他 |
|---------|--|--|---|
| 海外(28社) | Stanley Electric U. S. Co., Inc. | I I Stanley Co., Inc. | Stanley Electric Holding of America, Inc. |
| | Stanley Electric do Brasil Ltda. | Stanley Electric Manufacturing Mexico S.A. de C.V. | 天津斯坦雷電気有限公司 |
| | 天津斯坦雷電気科技有限公司 | 広州斯坦雷電気有限公司 | 斯坦雷電気(中国)投資有限公司 |
| | Thai Stanley Electric Public Co., Ltd. | Hella-Stanley Holding Pty Ltd | Lumax Industries Ltd. |

| 区分 | 第113期 2017年4月1日～ 2018年3月31日 | 第114期(当期) 2018年4月1日～ 2019年3月31日 |
|----------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 連結子会社数 | 36社 | 36社 |
| 持分法適用会社数 | 3社 | 3社 |
| 合計 | 39社 | 39社 |

会社・役員概要 (2019年3月31日現在)

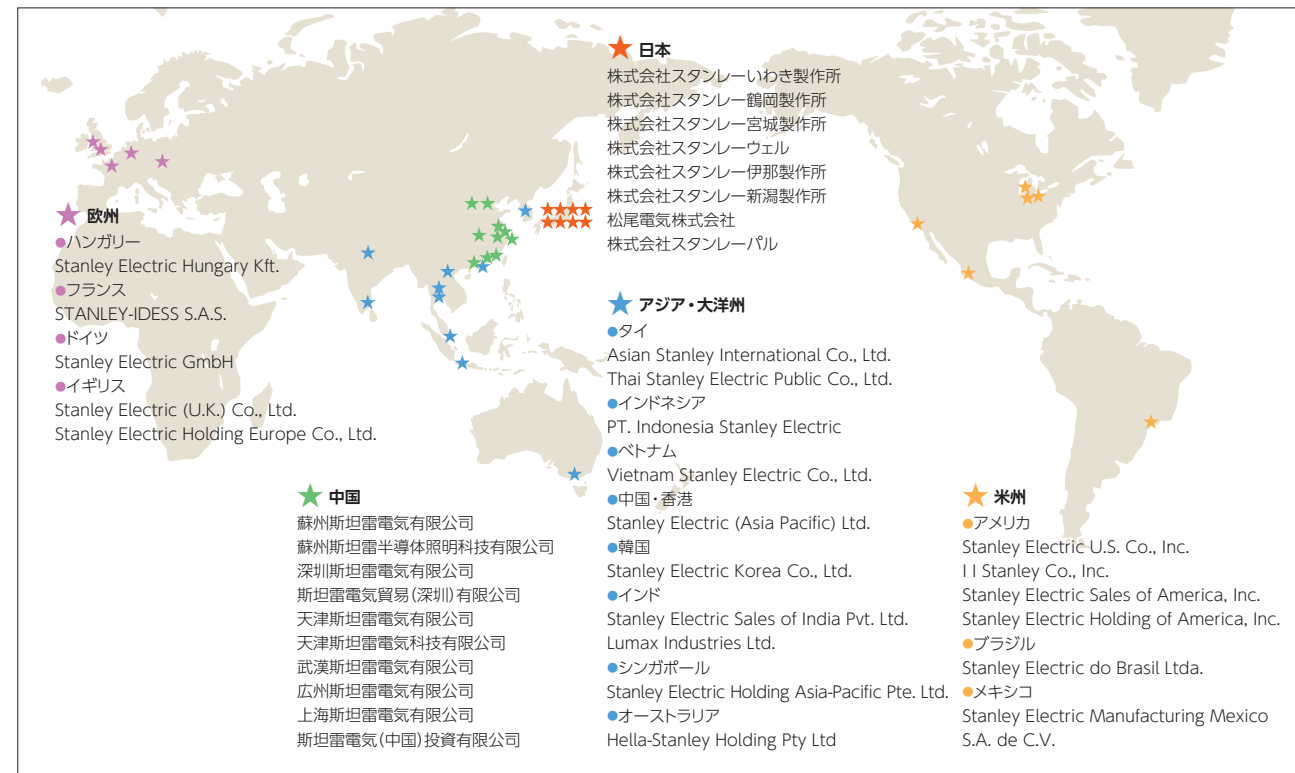
会社の概要

| | |
|-----|-----------------------------|
| 創業 | 1920年12月29日(大正9年) |
| 設立 | 1933年 5月 5日(昭和8年) |
| 資本金 | 30,514百万円 |
| 社員数 | 当社グループ 17,263人 当社 3,688人 |

事業所

| | |
|--------|--|
| 本社 | 東京都目黒区中目黒2-9-13 |
| 研究所 | 技術研究所(横浜) 宇都宮技術センター 横浜技術センター オプトテクニカルセンター(横浜) |
| 支店 | 大阪/名古屋 |
| 営業拠点 | 大宮/狭山/朝霞/鈴鹿 |
| 製作所工場等 | 秦野/岡崎/浜松/広島/山形 |

グループ会社



取締役・監査役 (2019年6月25日現在)

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 北野 隆典 |
| 取締役副社長 | 平塚 豊 |
| 常務取締役 | 田辺 徹 |
| 取締役 | 飯野 勝利 |
| 取締役 | 高森 啓之 |
| 取締役 | 米谷 光弘 |
| 取締役 | 貝住 泰昭 |
| 取締役 | 上田 啓介 |
| 社外取締役 | 森 正勝 |
| 社外取締役 | 河野 宏和 |

| | |
|-------|-------|
| 常勤監査役 | 山口 隆太 |
| 常勤監査役 | 下田 浩二 |
| 社外監査役 | 網谷 充弘 |
| 社外監査役 | 菅野 寛 |
| 社外監査役 | 上平 光一 |

執行役員 (2019年6月25日現在)

| | |
|--------|---------------------|
| 松下 義嗣 | 二輪事業部長、アジア・大洋州事業担当 |
| 大木 聡 | 四輪第三事業部長 |
| 太田 智広 | ストロボ事業部長 |
| 鈴木 重夫 | AD事業部長 |
| 寒河江 正浩 | 照明応用事業部長 |
| 遠藤 利恵 | コーポレートバリューアナリスト |
| 高野 一樹 | 四輪第一事業部長 |
| 伊藤 善仁 | 先進安全システム担当 |
| 留岡 達明 | インテグレートドコンポーネンツ事業部長 |
| 北野 隆章 | SNAP担当 |
| 角谷 克己 | 購買本部長 |
| 三杉 光昭 | 光半導体事業部長 |
| 北條 哲也 | 四輪第二事業部長 |
| 橋本 徹 | ディスプレイデバイス事業部長 |

株式等の状況 (2019年3月31日現在)

株式の総数及び株主数

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 750,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 175,200,000株 |
| 総株主数 | 9,112名 |

株式の所有者別割合

| | |
|-----------|--------|
| 外国法人等 | 37.19% |
| 金融機関 | 36.67% |
| その他の法人 | 12.63% |
| 個人・その他 | 5.76% |
| 金融商品取引業者 | 0.94% |
| 政府・地方公共団体 | 0.11% |
| 自己株式 | 6.70% |



大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 本田技研工業株式会社 | 9,235 | 5.65 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 8,796 | 5.38 |
| 株式会社三井住友銀行 | 8,111 | 4.96 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385632 | 7,784 | 4.76 |
| 日本生命保険相互会社 | 6,886 | 4.21 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 6,492 | 3.97 |
| 野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱UFJ銀行口) | 5,440 | 3.33 |
| JPMCB OMNIBUS US PENSION TREATY JASDEC 380052 | 3,523 | 2.16 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 2,788 | 1.71 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 2,677 | 1.64 |

(注1) 当社は、2019年3月31日現在自己株式を11,728千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
(注2) 持株比率は自己株式(11,728千株)を控除して計算しております。

株主メモ

| | |
|--------------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月 |
| | 定時株主総会 3月31日 |
| 基準日 | 期末配当 3月31日 |
| | 中間配当 9月30日 |
| 公告方法 | 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載のホームページアドレス http://www.stanley.co.jp/profile/index.html |
| 株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関) | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 単元株式数 | 100株 |

株式に関する手続き

- 株主さまの住所・氏名のご変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座(※)に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先・郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-232-711
(平日9:00~17:00・通話料無料)

お手续用紙請求 インターネットによるダウンロード
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※ 株券電子化前に証券保管振替機構に預託されなかった株式につきましては、三菱UFJ信託銀行に開設いたしました特別口座に記録されております。

- 未受領の配当金のお支払請求につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。



スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

〒153-8636 東京都目黒区中目黒2-9-13
TEL:03-6866-2222 FAX:03-6866-2678
URL:<http://www.stanley.co.jp/>